

## ～法医学・病理学セミナー ～フラジャイルとアンナチュラルの世界～

2021年2月27日(土) 13:30～15:45 Web開催

東京都、秋田県、福島県の高校生3名が参加くださいました。年度末の忙しい時期であり、参加者は3名と少人数でしたが、その分気軽に質問し合うことのできるセミナーとなりました。

第1部では、福島県立医科大学 病理病態診断学講座 主任教授 橋本 優子先生が、「バーチャルスライドでいろいろな組織をみてみよう!」と題し、病理という学問、仕事の内容はもちろんですが、実際の臓器の標本をバーチャルスライドでレクチャーしました。参加した高校生から、「心臓」の標本を見てみたいというリクエストがあり、Fabry 病患者の心臓のバーチャルスライドも紹介しました。

第2部では、横浜市立大学 医学部 法医学 教授 井濱 容子先生に「法医学ってどんな仕事?法医学者に聞いてみよう!」と題し、ご講演いただきました。法医学の仕事、役割を学び、実際の症例をクイズ形式で推理しました。また、法医学者が児童虐待を疑われる子供の傷やあざを観察し、児童虐待を見逃さないという、法医学者と児童相談所の連携も紹介されました。

参加者のセミナー後のアンケートでは、「今まで知らなかった病理医、法医について知ることができた」、「法医学の社会的な役割の話が興味深かった」、「実際のケースを見て、ショッキングではあったが現場の仕事を垣間見ることができ興味深かった」、「コロナが落ち着いたら、直接セミナーに参加してみたい」とコメントをいただきました。

大学院生が参加しても興味深いセミナーでした。少ない人数でしたが、高校生の皆さんがあまり緊張することなく質問できていたのが良かったです。